

※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業 区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	R3 参加人数					実施 回数 R4	R4 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R3	R4		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	【乳幼児クラブ(0歳)】 ベビーズクラブ	10	14	14	13	215	0	0	176	391	16	150	0	0	139	289	七夕、クリスマス等、季節のイベントや慣習を学ぶきっかけを作りながら、親子で楽しく活動する機会を提供した。後期は20組に迫る申込みがあり、子育て親子の交流を図ることができた。また、3クラブ合同で保健センター職員による前期、後期に講座を1回ずつ開催し、子どもの発達に合った良い話が聞けて満足した様子だった。
		【乳幼児クラブ(1歳)】 わんわんクラブ	10			12	123	0	0	101	224	19	210	0	0	168	378	親子のふれあいに重点を置き、子どもが参加しやすい活動を多く取り入れた。手遊び・体操等を積極的に取り入れ、親子で体を動かし、リフレッシュにつなげた。製作は発達を考え、子どもの成長・個性が残せる作品づくりをおこなった。
		【乳幼児クラブ(2歳)】 ちびっこクラブ	10			12	68	1	0	45	114	16	73	0	0	43	116	年齢発達を踏まえたプレ入園活動を行った。発達を考えた工作、ハロウィンでの仮装やたくさんの手遊びなど、この年齢に達したからこそ出来るようになった我が子の成長を複数の保護者と共に喜び合える場面をたくさん作った。
		小計				37	406	1	0	322	729	51	433	0	0	350	783	
	2	【おはなし】 おはなしランド	-	15	15	9	43	16	0	37	96	11	25	4	0	21	50	日にちを確認して来館する利用者が多く、乳児から園児まで幅広く参加した。来館した小学生も幼児の様子を伺いながら紙芝居や絵本を聞くこともあり、乳幼児と小学生の交流もあった。絵本や紙芝居に出てくる動物等を目で追い、楽しみながら読み聞かせを聞く子どもたちが多かった。
		【工作】 親子でTRY	-			1	4	0	0	2	6	3	13	0	0	10	23	親子で簡単に作れる工作を企画した。季節にちなんだ工作や子どもが楽しく感じられるような、しかけもある工作も企画し、参加者は作るのを楽しみ、作り終えてからも遊んで楽しんでいた。また、異年齢の親子が参加する事で子ども同士で仲良く遊んだり、親同士で協力して工作を行う等、参加者の交流を図ることもできた。
		【体力増進】 げんきっず	-			2	8	0	0	6	14	2	3	2	0	2	7	異年齢の幼児・園児が体を動かす事の楽しさを感じられるよう、その日来館した子どもの発達にあった活動をおこなった。保健センター主催の子重トレーニングの研修で紹介されたトレーニングの紹介や家庭での親子のスキンシップができる「家レク」を実際に行い、参加者からとても好評だった。参加者の交流も図りながら参加者全員で楽しく身体を動かす機会となった。
		【水遊び】 乳幼児水遊び	-			0	0	0	0	0	0	2	23	0	0	18	41	7月25日から27日の3日間、笠原児童館の乳幼児前スペースを利用して水遊びを企画。(27日は雨天の為中止)ビニールプールを複数準備し、水の感触を確かめながら楽しく活動した。保護者同士で子育ての交流を行うきっかけになったとともに、当日は小学生クラブのキックジュニアもスタッフとして入り、水遊びの補助を行う事で幼児と小学生の交流も図った。
		【父親祖父母支援】 軽スポーツで遊ぼう、パパズホリデイ、パパと一緒にクッキング、お手玉で遊ぼう	-			3	5	5	0	6	16	6	14	17	0	18	49	軽スポーツでは親子のスキンシップや参加者の交流を目的に、しっぽ取り等を行った。パパズホリデイでは公園での複数家族の交流あそびを企画。9月25日は台風接近のため中止。3月のパパズホリデイは市之倉児童センターの遊戯室で開催。ここにしかない遊具や天井の高さを利用した遊びを行い、満足した様子だった。パパと一緒にクッキングは食生活改善推進協議会の方と共催し、父親と子どものスキンシップを目的に、ピザ作りを開催。父親の手際の良さ等に驚くなど、子どもに良い刺激になった。
		【その他】 プレベビー、英語で遊ぼう～ロリポップ イングリッシュ～、大きくなったかな、わくわくパーク、木育ひろば、親子パン教室、お正月遊び(乳幼児)	-			22	133	34	0	121	288	35	186	35	0	154	375	プレベビーはハンドトリートメント、バランスボール教室等、子どもの様子を見ながらリフレッシュする講座を企画した。英語で遊ぼうは毎回キャンセル待ちが出るほど申し込みがあった。わくわくパークは4月に梅平公園、9月は共栄公園で活動。木育ひろばは2か月に1回実施。普段は遊べない木のおもちゃで遊んだり、木の材質等を説明することで木育を知るきっかけを作った。夏休みには園児が親子で参加できる親子パン教室を開催。親子で楽しく作る様子が印象的だった。
		小計				37	193	55	0	172	420	59	264	58	0	223	545	

項目	事業 区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	R3 参加人数					実施 回数 R4	R4 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R3	R4		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計	
児童を 対象とした事業	1	【小学生クラブ1】 一輪車クラブ	6	13	14	16	0	157	0	0	157	23	0	149	0	0	149	児童館まつりの発表に向けて、発表に使用する楽曲、振付は5年生を中心にメンバー内で相談しながら1から決めることでクラブ員の団結を強め、本番では大技をミスなく決めることができた。ペアの子が欠席でも他の子とペア練習を行う等、臨機応変に対応する力も身につき、発表にも意欲的になり向上心が芽生えている。
		【小学生クラブ2】 どれみクラブ	6			14	0	31	0	0	31	23	0	82	0	0	82	今年度からハンドベルも児童館まつりの発表に追加したところ、歌も演奏も好きなメンバーが増加。児童館まつりには小さい子も来ることから、童謡などみんなが聞いたことのある曲を練習し、リズム取りに苦戦しながらも発表することができた。発表できたことへの達成感から、次はこの曲を演奏したい等、活動への積極性やチャレンジ精神が育まれた。
		【小学生クラブ3】 キックジュニア	6			5	1	21	0	2	24	24	2	239	0	3	244	今年度からイモの苗植え等、地域の方との活動も増やしたところ、加入者が20名以上となった。地域行事も開催されるようになり、いこまい祭、お正月フェスティバルのスタッフとして意欲的に参加できた。人数が多かったため、児童館まつりの縁日の出し物を企画。段ボール迷路制作を手分けして行い、企画、制作、当日のスタッフまでやりきることができた。
		【ボランティア活動】 クリーン大作戦、おたすけキッズ	随時			13	8	52	0	9	69	14	5	57	0	4	66	クリーン大作戦では児童館の窓拭きやおもちの消毒、清掃等を小学生たちと一緒に実施。おたすけキッズは不特定多数自由来館の児童館の特性を活かし、児童館業務のお手伝いをしたり、乳幼児の遊びを補助することで乳幼児と触れ合う機会にした。
		小計				48	9	261	0	11	281	84	7	527	0	7	541	
	2	【学習支援】 宿題大作戦	-	13	14	1	0	2	0	0	2	3	1	18	0	8	27	長期休暇に課された宿題を取り組める日にちを設定。やる前に今日進めるページを話してから黙々と取り組んでいた。
		【工作】 工作教室、つくっちゃおう	-			3	2	26	0	22	50	5	5	43	0	8	56	核融合科学研究所の職員を講師に迎え、工作教室～くるくるヘリカちゃん～を実施。低学年が多かったが、講師の丁寧な説明を聞きながら自分だけのアレンジを加えて楽しく活動していた。つくっちゃおうは年4回実施。そのうちの2回は地域の方を講師に迎え、ひも細工で小物入れを作ったり、山で採れた木の実や松ぼっくりを使ったリース作りを開催した。
		【体力増進】 ニュースポーツで遊ぼう、卓球をしよう	-			6	14	33	0	23	70	7	8	53	0	10	71	ニュースポーツで遊ぼうでは6月26日にカローリング、8月9日にモルックを実施した。学校等では触れない珍しいスポーツのため、投げた感触やルールを守って楽しく活動した。卓球をしようは定期的に開催した。幼児向けに段ボールでラケットを作る等、誰でも楽しめる形式にしたところ、親子で楽しんだり、友達と順番に競い合う姿が印象的だった。
		【食育】 児童館ファーム、もぐもぐ	-			5	4	17	0	7	28	10	11	74	0	15	100	食の循環プロジェクトの一環として実施している児童館ファームは、今年度から段ボールコンポストを再開。毎月中央公民館が会場のふれ愛食堂で出た野菜くずをいただいて、肥料作りを行った。畑ではきゅうりと里芋を育て、コロナ禍のため来館者で収穫して分け合った。もぐもぐは持ち帰りでの開催として、簡単なスイーツや、おやき、肉まん等を調理した。参加者の交流や食への関心を高めた。
		【館イベント】 デイキャンプ、お話の会、栗拾い(未)、トランプをしよう	-			3	5	19	0	13	37	3	2	15	0	2	19	デイキャンプは夏にちなんだ金魚鉢風のゼリー作り、アクアリウム工作、すいか割りゲームの3本立て8月21日に開催。作品には子ども達の個性が感じられ、ゲームでは開始時より仲良く活動しているのが印象的だった。お話の会では毎年戦争に関する絵本や紙芝居を読んでおり、参加者の中には「もう一冊も読んでほしい」と言うほど集中して聞いていた。トランプをしようではお家や友達と一緒にやってる遊びを来館した子たちを行い、楽しく活動した。他校区との交流もできる栗拾いだが、感染者が増えて来た時期ということもあり、中止とした。
		【その他】 チャレラン、施設交流会	-			11	1	36	0	2	39	14	0	74	0	1	75	チャレランはまちがい探し・クロスワード・迷路・なぞなぞ・てんつなぎなど、学年にあわせたプリントを準備し、脳トレあそびをおこなった。施設交流会はコロナ禍の為、歌や一輪車の発表はできなかったが代わりに季節に合った飾りを送り、高齢者施設の方との交流を図った。
		小計				29	26	133	0	67	226	42	27	277	0	44	348	

項目	事業 区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	R3 参加人数					実施 回数 R4	R4 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R3	R4		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域交流事業、多世代間交流事業（乳幼児から大人）	1	【児童館まつり】 児童館まつり	1	13	14	1	26	46	0	45	117	1	34	76	0	73	183	昨年度と同様に開催。観覧者も多く、どれみクラブ、一輪車クラブは失敗しても最後まで精一杯発表していた。毎年発表している「フラダンス」「コーラス」も昨年度より演目も増え、多くの拍手をもらっていた。午後の縁日は射的、わなげ、段ボール迷路の3つのゲームを開催。段ボール迷路は「キックジュニア」が1から企画し制作したこともあり、楽しく探索している様子が印象的だった。キックジュニアはスタッフも行い、来館者の対応や射的の打ち方を積極的に教えるなど、一生懸命スタッフとして対応していた。
		【調理講座・体験】(笠原のみ) ファミリークッキング(中)、食育クッキング、地域社協共催調理事業(ほうばずし作り、お月見団子作り、こんにゃくづくり)	6			6	17	2	0	27	46	12	28	0	0	92	120	ファミリークッキングは代表者と協議し、「その場での飲食が解禁されるまで自粛」となった。食育クッキングでは小さな子ども同伴OKとし、食育クラブと一緒にお昼ご飯を作ることを目的として開催。小さい子向けにデコレーションやお手伝いを作っておくことで親子で楽しく活動していた。地域社協との共催事業で年に3回開催。地域の方も子どもの様子を見ながら一緒に調理を行い、地域と子育て親子の交流を行った。
		【移動児童館】 いこまい祭、お正月フェスティバル、ふれあい福祉まつり(未)、もみじまつり(未)	地域事情に応じて			2	43	66	1	55	165	2	89	130	33	172	424	8月6日に「いこまい祭」が開催され、笠原児童館は「しやてき」を出店。18:00～20:30の間に200名以上の参加があった。小さい子は親子と一緒に、小学生以上の子どもたちは友達と競って楽しんでいた。1月15日のお正月フェスティバルには「すず投げ」を出店。3つの鈴を投げ、ほしい景品の入った箱に入れるゲームを開催。思ったより白熱し、小学生をはじめ多くの参加があった。ふれあい福祉まつりともみじまつりは主催団体から中止の連絡があった。
		小計				9	86	114	1	127	328	15	151	206	33	337	727	
	2	【季節行事】 こいのぼりプロジェクト、セタプロジェクト・お正月遊び・書初めをしよう・かるたをしよう・けん玉で遊ぼう・五節句	-	13	13	7	65	35	2	58	160	5	50	37	0	49	136	五節句や季節ならではのイベントにちなんだカード作り等の制作はプロジェクト期間として4～5日程度設けて開催することに変更した。自身の都合に合わせて参加できるため、昨年よりも参加者が多かった。こいのぼりプロジェクトは館内で制作できる期間を設定し、完成したものは館内に掲示して子どもの成長を願った。セタプロジェクトではお願い事を短冊に書き、館内に飾った。お正月にちなんだ遊びを新年の始めに開催した。福笑いや羽子板を手作りして楽しんだ。
		【館イベント】 進級お祝い楽しみ会、大切な人へのカード作り、大切な人へのプレゼント作り、移動水族館、敬老の日写真立て作り、親子でおイモ掘り、木育ひろば、各カード作り(クリスマス・バレンタイン・ひなまつり)	-			8	106	41	0	119	266	13	149	70	3	171	393	進級お祝いお楽しみ会は児童館の利用のルールをクイズ形式で出題し、参加者は楽しく覚えた。各カード作りは今年度から期間を設けたところ、都合の良い日にカード作りをする参加者が増えた。敬老の日の写真立て作りは毎年地元の大工さんに木枠を依頼し、地元のタイルで飾って制作するもので、今回も多くの参加者があった。親子でおイモ掘りは雨天のため食生活改善推進員協議会の方がじゃがいもの栄養素やレシピの資料を渡す等、子育て親子の食育について講話を行った。移動水族館は遊戯室にブルーシートを敷き、土岐川観察館の職員を講師に迎え、生きものとの触れ合い方をていねいに教えていただいた。参加した子どもたちが生きものに優しく触れている姿が印象的だった。
		【地域行事】 お鍬祭(未)、どんど焼き、かさはら悠遊塾(中)	-			2	4	0	0	22	26	1	8	14	0	9	31	かさはら悠遊塾との交流は悠遊塾側が都合悪くなったため中止。どんど焼きは土曜日開催のため、どなたでも参加できる形式で募集を行ったところ、町内から多くの参加があった。当日はあらかじめ買ったおもちを焼きながらその場にいた地域の方と話したりして交流を行った。
		【相互連携事業】 親子で聴く初夏の音楽会	-			1	1	2	0	2	5	1	3	2	0	5	10	6館共催で5月に「親子で聴く初夏の音楽会」を開催。誰もが聴き馴染みのある有名な曲を披露したため、皆でリズムを取ったりして演奏を聴いていたのが印象的だった。
		【避難訓練/防災防犯訓練】 避難訓練、防災訓練	-			10	33	34	0	26	93	12	13	66	0	13	92	毎月の避難訓練に加え、9月はF.I.G 訓練を実施。児童館の地図を見て、火元の場所から逃げる場所はどこが良いか参加者と一緒に考えて実際に避難を行った。防災訓練は初めに水消火器訓練を実施。小学生が使い方をよく知っており、確認しながら正しく消火器を使う訓練をした。後半は女性消防団の方を講師に迎え、防災食作りを実施。お湯だけで調理できることに驚いており、とても満足した様子だった。
		小計				28	209	112	2	227	550	32	223	189	3	247	662	

項目	事業 区分	実施日・事業名	指定回数	年度評価		実施 回数 R3	R3 参加人数					実施 回数 R4	R4 参加人数					事業内容、利用者の満足度・評価等
				R3	R4		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計		乳幼 児	小学 生	中高 生	大人	合計	
中高生事業	1	【中高生ボランティア】 ふれ愛食堂(中)、デイキャンプ(中)、いこまい祭、ふれあい福祉まつり(未)、もみじまつり(中)、お正月フェスティバル	3	13	13	5	0	0	10	0	10	4	0	0	9	0	9	いこまい祭では児童館として射的を出店し、19:00～20:30までの間、中学生がスタッフとして活動。参加者の対応や弾の準備、消毒等を手際良く行っていた。お正月フェスティバルでは鈴投げを出店し、中学生ボランティアとして2名がスタッフとして活動。景品の受け渡しや鈴の回収等、参加者の様子も見ながら自分で考えて対応する姿が印象的だった。
		小計				5	0	0	10	0	10	4	0	0	9	0	9	
	2	【学習支援】 宿題大作戦	-	12	12	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	長期休み中に宿題大作戦の日にちを設定したが、当日の来館はなかった。
		【中高生会議・ハローワーク】 中高生ハローワーク	-			0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	3	来館した友達同士で「ジョハリの窓」を実施。自分が知っている自分、他人も知っている自分、自分が知らない自分等、4つの窓に分けることで自身を知る機会を作り、卒業後の進路や職業選択等につなげた。友達同士で作った結果を共有したり、自分を知ってくれてうれしいという様子だった。
		【体力増進】 中高生スポーツ	-			1	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	長期休み中に日にちを設定したが、中高生の来館はなかった。
		【乳幼児ふれあい事業】 乳幼児ふれあい水遊び	-			0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	今年度は水遊びが解禁されたため、中学校にもポスターの掲示を依頼し、3日間開催していたが、3日間とも来館はなく中学生がいない状態での開催を行った。
		【その他】 中高生レストラン(中)	-			1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	12月にリースパンを作ろうと題して調理事業を企画したが、中学生の申込みはなかった。
		小計				2	0	0	4	0	4	8	0	0	3	0	3	
子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進	1	【相談事業】 子育て相談日	12	13	12	8	1	1	0	2	4	12	0	0	0	0	0	いつでも相談できる場所である事をおたよりや館内掲示で広く周知を実施した。事前申込制とおたよりや受付で掲示をしたが、実際に事前に申し込まれて相談を受ける方はいなかった。日頃より相談しやすい雰囲気作りや関係性を大切にしていきたい。
		【講習会、講演会、他団体連携事業】 木育ってなあに、防火教室、ファミリーコンサート	2			2	20	3	0	19	42	3	12	3	0	12	27	「木育ってなあに」では、木育指導員を講師に迎え、事前に借りた木のおもちゃの遊び方を紹介し、自由に遊べる時間という形で実施。物珍しさもあり、小さな子どもから大人まで、木のおもちゃに触れ、楽しく活動していた。防火教室では多治見市女性消防団に依頼し「ショーカちゃんとホースくん」の紙芝居等を織り交ぜ、火災予防の話を乳幼児親子に実施。子どもが楽しく参加できるように工夫を凝らした内容で、子どもも親も満足した様子だった。ファミリーコンサートは複数のリコーダーによる講演で重なる音色に癒されて満足された声が多かった。
		【母親クラブ】	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	母親クラブなし(令和5年度から再結成が決定した)
		小計				10	21	4	0	21	46	15	12	3	0	12	27	
	2	【自主事業】 ママメイト、さわやかママフラ、にじいろ、ちびっこフラダンス	-	14	15	23	94	19	0	96	209	45	267	36	0	282	585	母親クラブ再結成を目指し、情報交換や子育ての合間の自分時間の充実を目的に開催し、令和5年度から再結成することが決定した。ママメイトでは気軽に話せる場として、笠原在住の子育て中のママを講師に迎え、パン教室を開催した。パン作りを一緒に行いながら気軽に話せる機会を作ることができた。さわやかママフラ、ちびっこフラダンスも笠原在住の方を講師に迎え、身体を動かすことで気分転換やリフレッシュできると好評だった。「にじいろ」は子育てしている方が講師となることで参加しやすさ、相談しやすさを図るとともに、同じ子育てしている目線で趣味や特技を活かして企画した講座は引きつけるものがあり、終始和気あいあいとした雰囲気の活動となっているのが印象的だった。
		小計				23	94	19	0	96	209	45	267	36	0	282	585	